

久しぶりに米子市児童文化センターに行った。走り回る子どもやよちよち歩きの赤ちゃん、若いお父さんお母さん、たまにおじいさんおばあさんの姿。折り紙や紙飛行機、けん玉で遊ぶ親子、高校生の姿もあった。センターの一角に、よくこそ電子顕微鏡のまち・米



電顕のまち？

子市へ」と書かれたパネルがある。その下では、電子顕微鏡を使った観察の準備がされていた。ちょうど同所で開催中のバラ展関係者らが集まっていた。次に花びらを映すとこられた。「植物にも口があるんですよね？」と質問が。おー！と驚きの声が上がった。これをみつめていた子どもたちも、注目して動いた。葉の裏を一切れ試料台に置こうとしないほどだった。まさに児童文化センター作。画面に口が現れ、「これは、赤ちゃんから大人まで、気孔といって植物が呼吸する口です」という説明がある。(とかみん)